

常盤台使い

Letter from the Residential Tokiwadai

第153号 2024年9月15日

サマーフェスタ in マルシェ 2024 開催

3年ぶりにサマーフェスタ in マルシェを開催することができました。
盆踊り・花火も復活!!! 新型コロナ流行以降、あの熱気が戻ってきました。



大提灯も復活!!





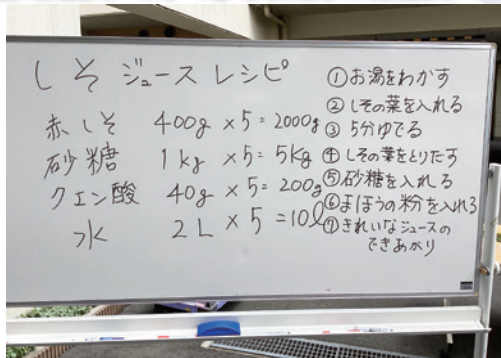
紫蘇ジュースで乾杯！



農園で収穫した赤紫蘇を使って、毎年恒例の紫蘇ジュース作りを行いました。



一枚一枚丁寧に……。



レシピはこちら！



煮だすと葉の色は緑色に。



魔法の粉（クエン酸）を加えると鮮やかな赤紫色に！



サマーフェスタでも販売！

Only One

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”“人” etc があると思います。このコーナーではそんな人の“Only One”をご紹介します！

6番街 嶋崎睦子さまの Only One

今号にご登場される嶋崎睦子様は6番街にお住まいです。ご長女様にご寄稿いただきました。

鹿児島で生まれて育った母は幼少期に戦争という激動の時を経ながらも、強くて明るく、何よりも誰よりも働き者！“薩摩おごじょ”そのものです。その後、縁があって逗子に住み、父（夫）と職場で出会い結婚、自営業の夫を手伝いながら、一男二女の子育てに奮闘……。そんな日々の中での楽しみは、大好きなバラの花のお世話。また、人に誘われたり、気の赴くまま、お茶、洋裁、鎌倉彫り、三味線など、たくさんのお稽古にチャレンジしていました。中でも、編み物、革細工は、お友だちとのつながりも深く、楽しく“おしゃべり”しながら続けて、私たち家族にもたくさん作ってくれました。娘（私）が少女子育ての愚痴を言おうものなら、「そんなこと考えて…あなたも暇ね！」とばっさり！なんとも楽観的で、よく笑い、さっぱりとした性格です。そんなチャーミングでちょっと気の強い母も、年を重ね、孫に囲まれてまろくなっていきました。



これから先は、ゆっくり穏やかに過ごしてほしい。どうしたって母のようににはなれないけれど、母のOnlyoneである笑顔は受け継いでいけたらと思います。

編集後記

9月は敬老月間です。今年は3名の方が百寿を迎えます。次月号をお楽しみに。